

仲間の力を自分の力にできる2学期に

令和5年度 始業式 (8/29) 校長の話

おはようございます。

今日から、2学期のスタートです。皆さんはどんな夏休みを過ごしてきたでしょうか。今年もたいへんな猛暑が続きましたが、体調はどうでしょう。今日からまた、学校生活を中心とした生活リズムが動き始めます。起きる時間や寝る時間などが乱れていた人は、体調を崩してしまいがちです。早めにしつかりと寝て、食事もしっかりとって、健康的なスタートをきってほしいと思います。

さて、休み前の終業式の日、私から「夏休みは、学校では体験できないことも進んで取り組んでみましょう」とお話ししましたが、何か挑戦できた人はいるでしょうか。素晴らしい経験を経て成長したものは、2学期にぜひ生かしてほしいと思います。また、ボランティア活動がんばったという人もいたかもしれません。そういう人には、7月から始めた「ボランティア活動証明書」の贈呈をしますので、担任の先生を通じてでもいいので、ぜひ教えてください。そして、これからも、人のために進んで働けるような、思いやりのある八中生であってほしいと願っています。

ところで、皆さんは、2学期を迎えるにあたって、どんな目標を立てましたか。それぞれ自分の苦手なものを克服したり、得意なものを伸ばしたりするための目標をもつと思いますが、私からは、八中生全体の目標として、次のことを掲げてほしいと思っています。それは、「人と人との結びつきを大切にしていって、仲間の力を自分の力にできる学期にする」ということです。

自分一人ががんばることも大事ですが、他の人と協力することで、一人では気づかなかったことに早く気づいたり、大きなことを成し遂げたりすることができます。人間は社会的な動物である、という言葉が示すように、人は社会の中で成長していきます。自分一人ではなく、仲間と協力して課題を乗り越えていこうという気持ちを、まず基本にすえてください。

これは、勉強するときも同じです。授業の中でさまざまな課題に出会います。一人の力でそれを解くことでたしかに力はつきます。しかし、仲間とともに、お互いの力を重ね合わせたとき、一人では見つけられなかった、もっと広い、もっと深い答えに到達します。目先にある簡単な答えで満足せず、そうやって仲間とともに深い答えを見つけようとチャレンジすることが大切です。

1学期では、体育祭などを通じてクラスの仲間づくりをしてきました。これは、植物でいえば種を植

え、芽が出始めたところです。2学期はこれを大事に育て、大きく伸ばす時期です。そして、3学期には、実をみのらせませす。大きな実をつけるためには、2学期の間に、太い幹を作り、しっかりと枝を伸ばし、葉を茂らせる必要があります。それは、あらゆる機会を捉えて、自分一人だけではなく、他の人と協力していこう、そして、よりよい答えを出していこうとする、前向きな姿勢から生まれます。10月には合唱コンクールもあります。クラスの協力がますます試される時です。行事、授業、ふだんの生活の中で、他の人と知恵を絞りながらよりよい答えを見つけていってください。先生たちはそのためのサポートをしていきます。

さて、最後に、そうはいっても、2学期が始まって、まだ気持ちが乗ってこない、なんだか重たい気分を引きずっているという人もいるかもしれません。夏休み明けは、だれでも同じような気持ちになるものです。それでもがんばってペースを戻すことができる人もいれば、いつまでたっても重い気持ちが残ってるという人もいます。それは決しておかしいことではなく、誰にでも起こることです。そういう人は一人で抱え込まず、信頼できる大人の人、先生や家族、また、友達などに相談するようにしてください。誰かを頼ることは恥ずかしいことではありません。一日でも早く、重い気分を払い去ってしまえるよう、先生たちも応援しています。

では、3年生は明日から修学旅行、2年生は来週から職場体験があります。ぜひ、がんばってください。私の話は以上です。